

8/30 福

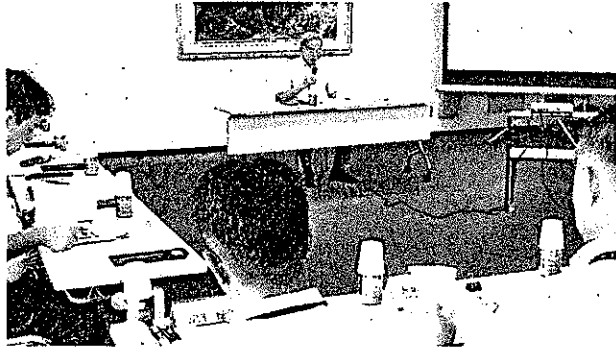
# 関電から聞き取り

## 県原子力安全委 工事状況など

原発の安全性を県独自にチェックする県原子力安全専門委員会は二十九日、県庁で会合を開き、再稼働に向けた審査が最終盤を迎えている関西電力大飯原発3、4号機（おおい町）について、関電から対策工事の実施状況などを聞き取った。中川英之委員長（福井

大名誉教授）は終了後、結果の取りまとめに入ってきたこととの認識を示した。

中川委員長は今後、原子力規制委員会による保安規定の審査が終わった段階で「原子力規制庁から説明を受け、質疑したい。対策工



大飯原発3、4号機の安全対策工事の状況を確認する中川英之委員長（奥）ら県庁で

事を行った現場の確認もし、結果をまとめたい」と述べた。

一方、前原子力規制委員会委員長代理の島崎邦彦東大名誉教授が、大飯原発の地震想定を「過小」と指摘していることに、田島俊彦委員（県立大名誉教授）が「このまま再稼働を容認すれば、多くの人が疑問を感じる」と島崎氏を専門委に招聘するよう提案した。

他の委員は「三つの断層の連動を考慮した関電の地震想定が、過小評価だとは思わない」などと招聘に難色を示した。中川委員長は「規制委できちんと評価されたと思っている。委員の中で別の考え方があれば、また考えたい」と述べ、この日の議論を終えた。

（尾嶋隆宏）